

新年のご挨拶

太田市医師会長 李 雅 弘

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様方に新年をお迎えになられましたことをお慶び申し上げます。本年申年が平和で平穏で安心して暮らせる年でありますことを心より祈念しております。

昨年は、バスケットボールに書かれた「あなたのことを忘れない」に始まる多くの子供達の出来事に心の痛む思いでした。しかし悲しい出来事ばかりでなく2人のノーベル賞受賞や、ラグビーワールド杯での日本の活躍には心から喝采をし、エディー・ジョーンズヘッドコーチの4年間の地道な血のにじむ努力と功績に真の指導者の姿をみせてもらい、称えるべき言葉がみつかりませんでした。

さて、2016年から2018年までの3年間は我々にとり耐え忍ぶつらい慨歎の年になります。本年4月から診療報酬の改定が始まり、実質は2年前と同様にマイナス改定が予想され、2017年は消費税が10%に増税されることから再び診療報酬の改定が行なわれ、2018年には医療介護の大改革へと進み、2025年問題の重大な方向付けとなると考えられるからです。又、同時に病院にとって死活問題となる4つの医療機能による病床削減計画を含む地域医療構想や多職種間の連携と調整が必要となる地域包括ケアシステムも本年3月までに完成される予定です。しかし、時間も不足し担当する人員も十分でない現状ではたして全ての医療介護の関係者が納得し満足できる構想やシステムを稼働させることが可能かどうか危惧しています。何故なら、高齢化により介護サービスの需要が増す将来の人員不足は深刻で2025年には37万人が不足すると推計され、群馬県でも12000人～15000人の不足が予想されています。この様な状況において国の方針では医療から介護まで一貫した提供体制改革の為、「病院完結型」の医療から「地域完結型」の医療介護へと変容する必要から地域ネットワーク化と連携の為に地域医療構想と地域包括ケアシステムのセット化がなされると考えます。大変な時代へ突入する入口に立たされています。太田市医師会では今後とも地域医療の充実、住民のさまざまなニーズにこたえ、市民の生命と健康を護る使命を全うすべく努力する所存でございます。結びにあたり、群馬県医師会、太田市医師会、関係各位のご健勝、ご多幸を衷心より祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます

平成28年1月